

活動タイトル	みんながほっとできる居場所「ポニーパーク」		団体名	NPO法人ハーモニカレッジ		
1年間の活動 (アウトプット)の 目標 (事業全体)	(1)「ポニーパーク事業」の実施（週末3時間・8月を除く月5回開催） ①プレーパーク…子どもたちのやりたい事ができる場（工具や火を使った遊び、自然発生的な遊び、畑作り、野菜収穫、クッキング、ものづくり、音楽など） ②みんなのサロン…子育て中の親の悩みを相談したり、学びを深めたりできる場。（相談会、お茶会、ご飯会、読書会など） ③振り返り会…学生ボランティアと共に、活動について振り返る時間。 (2)「ポニーパーク事業」オープニングフェスタ…「ポニーパーク事業」の活動内容紹介をする			■活動風景		
	■活動報告		■1年間の目標に対する達成状況			
	・2018年9月～2019年7月に、新事業「ポニーパーク事業」の実施。 ・プレーパークを空山ポニー牧場にて実施した。（月5回、3時間） ・プレーパークでは、たき火や、畑作り、クッキング、工具を用いたモノづくりなどを行った。（各回約30～40名の子ども達が参加） ・みんなのサロンでは、お茶会やご飯会などを実施し、子育て中の悩みを相談しながら、大人がリフレッシュできる場を設けた。（各回約15～20名の保護者が参加） ・学生ボランティアが子ども達と関わり、遊び場づくりについて学びながら、実践し、活動後の振り返りを行った。（各回10名程度） ・室内活動の拠点として、ログキャビンを購入した。みんなのサロン、雨天時の活動実施場所として活用した。		①プレーパーク ・実施回数、内容ともに予定通り実施できた。 ・のべ2000名（達成率80%）の子ども達が参加。 ・自然の中で、普段できない遊びを楽しみ、異年齢の仲間と関係を深め、自信を育てていた。 ②みんなのサロン ・実施回数、内容ともに予定通り実施できた。 ・のべ100名（達成率80%）の保護者が参加。 ・自分の思いを受け止めてもらえる場があることが、子育ての安心感に繋がっていた。 ③振り返り会 ・予定通り実施できた。 ・のべ700名（達成率110%）の学生が参加。 ・プレーリーダーのノウハウを学びながら、実践と振り返りを積み重ね、楽しみながら意欲的に子ども達と関わっていた。			
	■1年間の活動のまとめ		■事業を通じて得られたノウハウ	■実施した人材育成策	■活動成果のアピールポイント（自由記入）	
・ログキャビンの購入により、保護者が集えるスペースができ、保護者同士の交流が深まった。 ・外遊び専属スタッフの導入により、プレーリーダーの育成ができ、子ども達が安心感を感じ、生きる力を育む場になった。 ・多世代が安心して過ごせる場づくりには、物的資源や技術的なノウハウとともに、人的資源が必要不可欠である。 ・子どもの育ちや保護者同士の人間関係、学生ボランティアの育成などは、短期的な変化はわかりづらいが、長期的な事業継続が必要である。	プレーリーダーのノウハウ ①安全配慮 ・遊び場の危険個所の確認、修繕 ・遊び道具の管理方法 ・危険予知能力、ヒヤリハットの共有 等。 ②遊び場での実践 ・自ら遊び込む ・子どもの気持ちを受け止める、肯定する ・一緒に考える ・一緒にやってみる 等。		学生ボランティアの育成。 ・思考力や実行力を養えるよう、PDCAサイクルを徹底した。 ・やりがいを持って、活動に取り組めるよう、子どもの育ちや変化を学生ボランティア内で共有した。 ・学生ボランティアが存在意義を感じられるよう、保護者の人から感謝の気持ちを伝えてもらう場を設けた。	この1年間の活動を通じて	多世代が安心して過ごせる場づくり	を達成しました。
■受益者の変化（効果測定結果等）						
・子ども：学生ボランティアや異年齢の仲間と関係性を深め、安心できる場になり、自分の思いを表現できるようになった。 ・保護者：子育ての不安が和らぎ、保護者自身がリフレッシュできる場になった。 ・学生ボランティア：子どもとの関わりに意欲的に取り組み、やりがいを感じるようになった。						



「プレーパークでのたき火」

学生ボランティアに見守ってもらいながら、自分たちで火をつける楽しさを味わいました。



「学生ボランティア活動後の振り返り」

活動後に今日感じた事などを話し合い、次回への改善点などを出し合いました。